

平成30年度 かながわの遺跡展

潮風と砂の考古学

平塚市博物館 特別展示室

2018.12.1(Sat.)⇒2019.1.6(Sun.)

【9:00～17:00 (入館は16:30まで)】

休館日 月曜日(12/24は開館), 12/29～1/3

観覧料 無料

主催 神奈川県教育委員会

平塚市博物館〔平塚会場〕・神奈川県立歴史博物館〔横浜会場〕

後援 神奈川新聞社・朝日新聞横浜総局・毎日新聞横浜支局・読売新聞横浜支局

産経新聞横浜総局・東京新聞横浜支局・日経新聞横浜支局・NHK横浜放送局

十〇K・共同通信横浜支局・時事通信横浜総局・ラジオ日本・FM Yokohama 84.7

◆本展示に関する問合せは

神奈川県埋蔵文化財センターへ(☎ 045-252-8661)

神奈川県立歴史博物館 特別展示室

2019.1.19(Sat.)⇒2019.2.17(Sun.)

【9:30～17:00 (入館は16:30まで)】

休館日 月曜日(2/11は開館), 1/29, 2/12

観覧料 常設展観覧券でご覧いただけます

20歳以上(学生は除く) 300円(250円)

20歳未満・学生 200円(150円)

高校生 100円(100円)

65歳以上 100円(100円)

※中学生以下・障害者手帳を持つ人は無料
()内は20名以上の団体の場合

潮風と砂の考古学



湘南砂丘地帯最古段階の縄文土器
(若尾山遺跡・藤沢市)※

人々が集い楽しむ湘南の海岸。
歴史深き街の一端を縁取る鎌倉の浜辺。
開国以来の世界への玄関口、横浜港。
そのうしろには、海と潮風がつくった
砂の土地が埋もれています。
かつてはみぎわにあったその土地
《砂丘》・《砂嘴》の上にも、
潮風に吹かれながら生きる
人々の姿がありました。
砂の上に消えず残された
その足跡をたどってみます。

★ 特別講演 ★ 最新！海《と》考古学 —海辺の遺跡の調査・研究—

第①回

杉山浩平（東京大学総合文化研究科特任研究員）
「相模湾を眺めていた弥生時代の人々」
平成30年12月8日（土）14:00～16:00
平塚市博物館講堂・定員80名

第②回

古田土俊一（浄光明寺執事・什宝物調査整理係）
「中世鎌倉における沿岸部の性格」
平成31年1月20日（日）14:00～16:00
神奈川県立歴史博物館講堂・定員70名

第③回

石村 智（東京文化財研究所音声映像記録研究室長）
「人はなぜ砂の上に住むことを選んだのか」
平成31年2月11日（月・祝）14:00～16:00
神奈川県立歴史博物館講堂・定員70名

◆ 入門講座 ◆

久我谷溪太（神奈川県教育委員会）
「担当者Kといっしょに学ぶ、
砂の遺跡のあれ・これ・それ」
平成31年1月26日（土）14:00～16:00
神奈川県立歴史博物館講堂・定員70名



県庁舎下の砂嘴（ヨコハマ）から出土した手焙り土器
（北仲通一丁目遺跡・横浜市）

▲ 特別講演・入門講座 申込方法 ▼

往復はがきに希望行事名（特別講演は希望の
回を明記・各回ごとに別のはがきで申込）・開
催日・住所・氏名・電話番号を明記して申込
・申込先：神奈川県埋蔵文化財センター
〒232-0033
横浜市南区中村町3-191-1
締切：特別講演 第①回 11月20日
第②回 1月4日
第③回 1月25日
入門講座 1月4日 必着
※応募者多数の場合は抽選
特別講演第②・③回と入門講座は要観覧券

【平塚会場】

12月8日（土）11:30～
12月16日（日）13:30～

【横浜会場】

1月20日（日）11:30～
2月9日（土）13:30～
2月17日（日）11:30～

● 展示解説 ● 申込不要・各回約1時間

平塚市博物館

※改修工事につき常設展示室はご覧いただけません



JR 東海道線平塚駅（東口改札）北口から
徒歩約20分 タクシー約5分
神奈川中央交通バス 美術館入口バス停下車 徒歩約3分 ほか

神奈川県立歴史博物館



※写真提供：藤沢市郷土歴史課

潮風に吹かれたそのあとは――

神奈川県立歴史博物館 次回展示

特別陳列

屏風をひらけば

― 神奈川県立歴史博物館の屏風絵 ―

平成31年
3月2日（土）～3月31日（日）